

EU Indicators

欧州経済指標コメント：10月英国PMI製造業

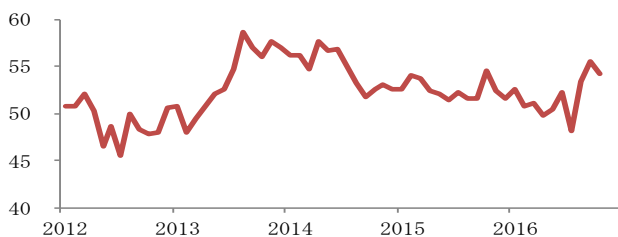
発表日：2016年11月1日(火)

～驕れる者は久しからず～

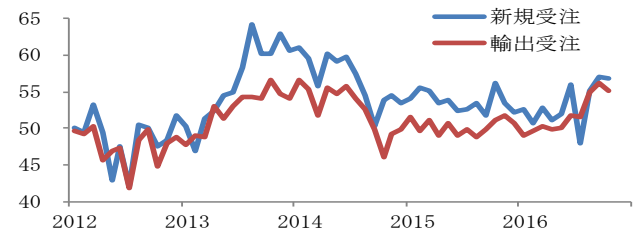
第一生命経済研究所 経済調査部
 首席エコノミスト 田中 理
 03-5221-4527

- 10月の英国の製造業PMI（前月：55.5→今月：54.3）は、2014年6月以来の高水準を記録した前月から低下したが、1992年以降の長期平均（51.5）を上回る高水準を維持した。前月の新規受注指数の改善加速にもかかわらず、生産活動指数（60.5→56.0）にブレーキが掛かり、受注残が積み上がっている可能性が示唆される。新規受注指数（57.0→56.7）が前月から僅かに低下したものの、高水準を維持したほか、雇用指数も前月から一段と改善したことと考え合わせると、先行きの製造業活動の堅調持続が示唆されよう。ただ、7-9月期の生産活動が前期比でマイナス圏にとどまっており、ソフトデータの改善は英国民投票後の過度な悲観論の修正で嵩上げされている可能性もある。
- 原材料価格の上昇と大幅なポンド安の進行により、投入物価指数（70.4→80.3）が一段と上昇し、2008年央以来の歴史的な高水準を記録。産出物価指数（55.1→60.4）も2011年央以来の水準に上昇、伝聞情報でも一部で価格転嫁の動きが始まっている。ただ、価格転嫁が追い付かず、企業の収益マージンが圧迫されている。過去にこのレベルで収益マージンが圧迫された局面では、その後に企業の景況感が急速に悪化している。ポンド安の悪影響が顕在化する危険水域に近付いている可能性がある。

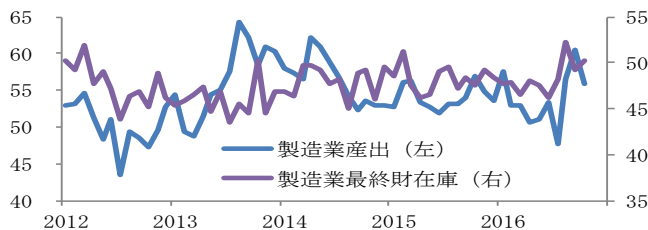
■英国：PMI製造業



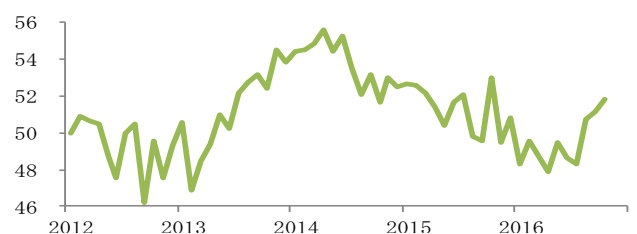
■英国：PMI製造業受注指数



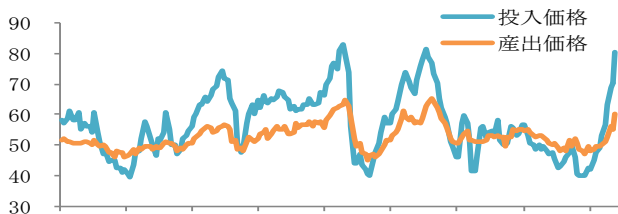
■英国：PMI製造業産出指数/最終財在庫指数



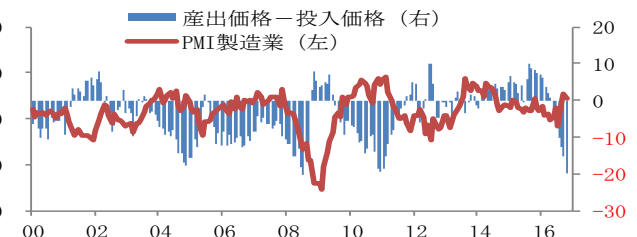
■英国：PMI製造業雇用指数



■英国：PMI製造業投入/産出物価指数



■英国：PMI製造業と産出/投入価格ギャップ



出所：IHS Markit

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。